

他人の情報を勝手に使ってはいけません

埼玉県教育委員会

インターネットでは、ボタンひとつで投稿やコピーなど、さまざまなことができってしまうため、あまり深く考えずに他人の情報を使ってしまったりすることもあります。しかし、たとえインターネット上であっても、他人の情報を勝手に使ってはいけません。場合によっては、トラブルに発展したり法に触れたりすることもあります。

他人の情報を勝手に使ったケース

インターネット上で起こりがちな、他人の情報を勝手に使ったケースを紹介します。

友だちの写真や動画を許可なく投稿

インターネット上のサービスは、不特定多数の人たちが見ることができる場です。そうした場に、自分が写った写真や動画を載せたくないと考えている人はたくさんいます。また、何か事情があって、自分のその日の行動を他の人に知られたくないと考えている人もいるかもしれません。

そのため、どれだけ仲がいい友だちでも、本人の許可なく写真や動画を投稿すると、けんかなどのトラブルになることがあります。



なんで勝手に載せるの？
他の友だちからの誘いを断って行ったから、その子に知られたくないのに……



インターネット上の文章や写真をコピーし、無断でSNSに投稿

誰かが創作した文章や写真などを、創作した人の許可なく使用すると、著作権の侵害となる可能性があります。これは商品として売り出されているものに限った話ではありません。誰かがSNSなどに投稿した文章や写真などでも同様です。

インターネット上には、創作した人が許可した写真など誰でも自由に使っていいものもありますが、そうしたものの以外はずべて、勝手に使ってはいけなないと覚えておきましょう。

この人のブログに載ってる写真いいなあ。SNSのアイコンに使おう！



友だちのSNSのアカウントにログインし、投稿

パスワードを推測したり、本人から聞き出したりして、友だちのSNSのアカウントに無断でログインし、悪ふざけのつもりで投稿するというケースがあります。

しかし、他人のID・パスワードを使って、アクセス権限のないサービスに不正にログインすることは、法律によって禁止されており、罪に問われることもあります。

B子の誕生日でログインできた♪



他人が写った写真や動画を投稿するには本人の許可が必要なこと、他人の文章や写真などを無許可で使ってはいけないことを頭に入れておきましょう。また、家族や友だちのものでも、他人のアカウントは絶対に使わないように注意してください。